

報 道 発 表

いのちとくらしをまもる 防 災 減 災 令和 3 年 3 月 15 日 02 時 30 分 地 震 火 山 部

令和3年3月15日00時26分頃の和歌山県北部の地震について

地震の概要	
検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	3月15日00時26分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	3月15日00時25分
マグニチュード	4.6 (暫定値)
場所および深さ	和歌山県北部 深さ 4km(暫定値;速報値約10kmから更新)
発震機構	西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型(速報)
震度	【最大震度 5 弱】和歌山県の湯浅町(ゆあさちょう)で最大震度 5 弱を観測した他、東海地方から中国・四国地方にかけて震度 4~1を観測

○防災上の留意事項

この地震による津波の心配はありません。

揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどが起こりやすくなっている可能性がありますので、今後の 地震活動に注意してください。

過去の事例では、大規模地震発生後に同程度の地震が発生した割合は $1\sim2$ 割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5弱程度の地震に注意してください。特に今後 $2\sim3$ 日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。

○ 地震活動の状況

今回の地震発生後、15日02時00分現在、震度1以上を観測した地震が3回発生しています(震度3: 1回、震度1:2回)。

○緊急地震速報の発表状況

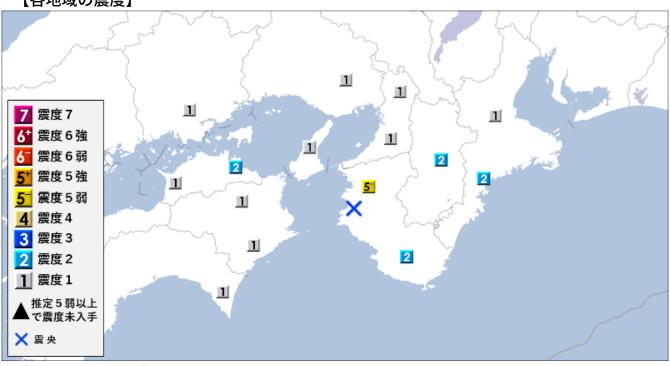
この地震に対し、地震波検知から4.1秒後の00時26分07.6秒に緊急地震速報(予報)を発表しました。 なお、緊急地震速報(警報)については、発表基準(最大予測震度が5弱以上)に達しなかったことから 発表していません。

本件に関する問い合わせ先	地震火山部 地震津波監視課
	電話 03-3434-9041 FAX 03-3584-8644

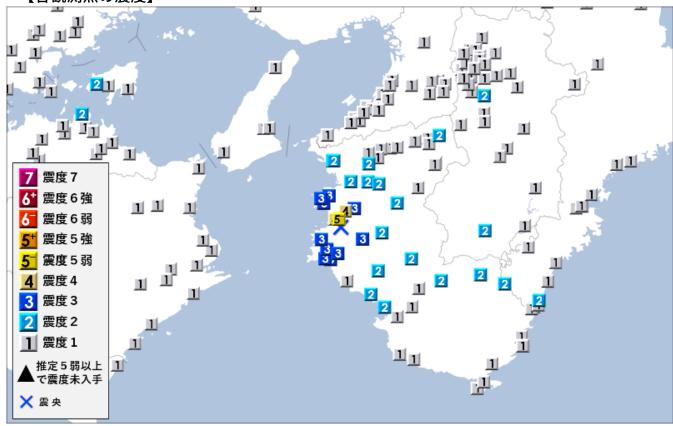
震度観測状況

3月15日00時30分発表

【各地域の震度】

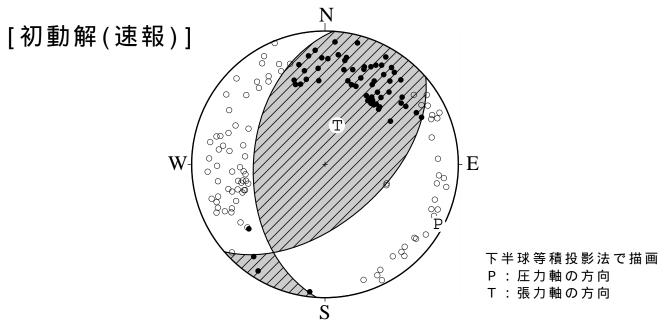


【各観測点の震度】

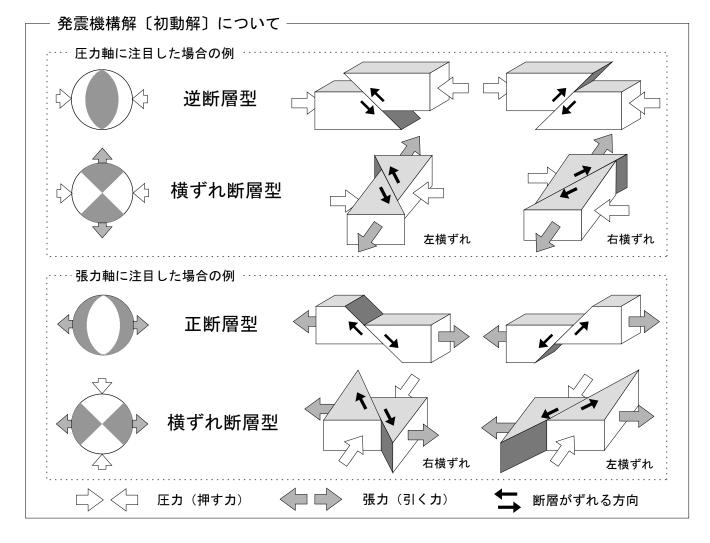


令和3年3月15日00時26分頃の地震の発震機構解 初動解(速報)

西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型



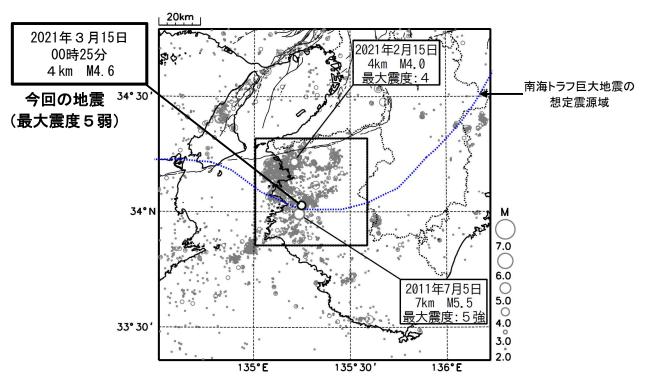
は初動が上向きの観測点、 は初動が下向きの観測点を示す。



令和3年3月15日 和歌山県北部の地震 (発生場所の詳細)

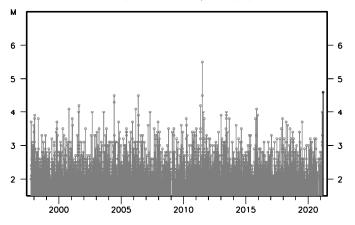
震央分布図

(1997年10月1日~2021年3月15日00時26分、深さO~20km、M2.0以上)



2021年3月1日以降の地震を濃く表示 図中の細線は主な活断層を示す 丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

上図の矩形内の地震活動経過



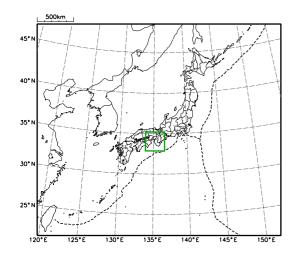
横軸は時間、縦軸はマグニチュード。縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

M ≧ 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km 今回の地震を赤く表示

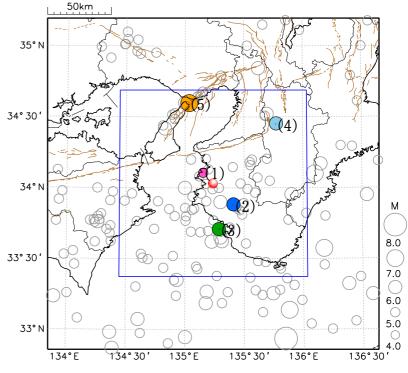
1885 01 01 00:00 -- 2021 03 15 00:30



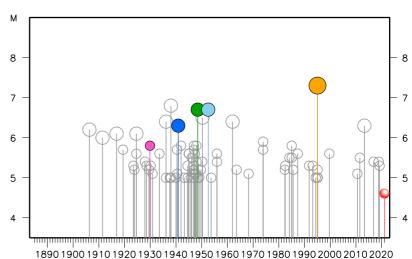
過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応 桃:(1), 青:(2), 緑:(3), 水:(4), 黄:(5)

- (1) 1929年11月20日 M:5.8 和歌山県北部
- (2) 1940年11月18日 M:6.3 和歌山県北部
- (3) 1948年06月15日 M:6.7 紀伊水道
- (4) 1952年07月18日 M:6.7 奈良県 吉野地震
- (5) 1995年01月17日 M:7.3 大阪湾 「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」



震央分布図の青色矩形内のM-T図



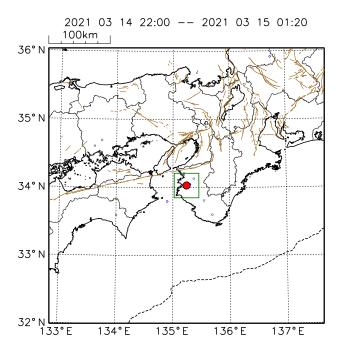
- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。
- ・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津 (1982,1985) 及び茅野・宇津 (2001) による。
- <地震の名称について>
- ・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。
- ・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称(「」を付加しない)を併記している。 名称は、「日本の地震活動(第2版)」(地震調査研究推進本部)による。
- ・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。 名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。
- 〈資料の利用上の注意点〉
- ・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。
- ・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。
- ・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力(※)が異なる場合がある。 ※検知能力:特定の地域、時期において、あるM(規模)以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。
 - この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。
 - 一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

2021年3月15日0時26分頃 和歌山県北部の地震

(震源の色について)赤:今回の地震 青:今回の地震より後に発生した地震 灰:今回の地震より前に発生した地震 震央分布図(詳細図)

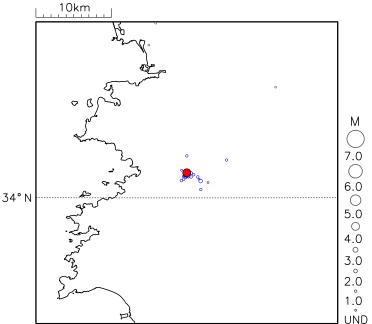
震央分布図(広域図)

深さ0 -- 100km、 M 全て



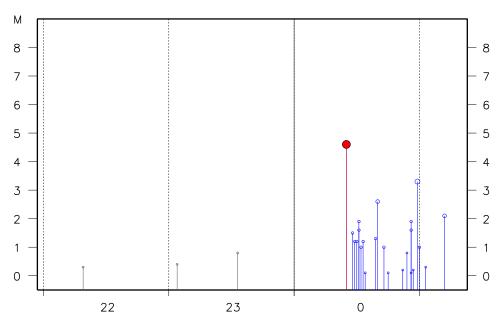
震央分布図 (広域図)の四角形領域内の震央分布図 深さ0 -- 100km、 M 全て

2021 03 14 22:00 -- 2021 03 15 01:20



震央分布図(詳細図)の地震活動経過図

2021 03 14 22:00 -- 2021 03 15 01:20



- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。
- < 資料の利用上の留意点 >
- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。